

森の中に
響き渡る
甘い声色

こっちよ

こっちに
来て

呼び寄せ
られるように
その声の
する方向に
向かうと

その先に
待っていたのは
一人の少女

嬉しい

来て
くれたのね

ひとたび
彼女に魅入って
しまったら

これ
は...?

足元に広がる
粘液に
足を取られ

フフ
♡

もう

逃げられ
ない

もう少しで
森を抜けられた
かもしれないのに

最後の最後に
捕まっちゃったね
人間さん♡

か…体が
動かない

私に見とれ
ちやつたのが
運の尽き

人間さんから
養分をたつぷり
いただいたっちゃうね♡

フフ♡
養分
どうやって
もらうと思う??

あなたを裸に
してることが
ヒントだよ♡

う…
まさか…



そう人間さんが
見とれちゃった
この体を使って
せいえき
栄養たっぷり
の養分を
ごちそうして
もらうんだ♡

リクイッ

タ
ポ
ニ
ニ♡



うわっ!?



素直な人には
ご褒美だ♡

ドロ



お♡

いい反応♡
エッチで
素直だね
人間さん♡

まぐっ



私の粘液
すごいでしょう?

おちんちんに
たっぷり塗りこんで
興奮させてあげる♡

はー♡

はあっ

はあっ

やめっ

ニユッ



なんだっ!?

ドキッ

体が...!?

ドキッ

粘液をたっぷり
なじませたおちんちんを
おっぱいの中に♡招待！♡

やめて
くれ！
今そんなこと
されたら…！

おかしくなる
くらい気持ちいい
だろうね♡

はいじゃあ

ギョーっ♡

おっぱい
♡

ああつ！！

ギョってただけで

白いのちよつと
おもらし
しちゃってる♡

だらしないなあ
人間さんは♡

でも中途半端
なのはダメだよね♡

やっ

おっぱい
♡

おっぱい
♡

んん

んん

これから動いて
あげるから

もおーっ
射精しちゃおうね♡

ググ...



こうやって動くとき
挟むだけより
ずーっと
気持ちいいでしょ♥

おちんちんおっぱいの
ビクンビクンって
脈打ってるよ♥

気持ちよくなってるのが
丸わかりだ♥



さらに速度を
上げてあげる♥

これでもっと
気持ちよくなる
でしょ?!

もう限界?

はっ
はち



はっ
はち

はちゅ

はっ
はち

いいよ
射精しちゃえ♥
おっぱいで
イっちゃえ♥



真っ白に
染められちゃった♡

はあ♡

すーいーい

あ

いーい

へろ
ん♡
おっ♡



私と一つになって
今度は中にたくさん
ごちそうしてね♡

人間さんの
おちんちんを私の
中に入れてあげる♡

はあっ

まったく…
おさまらない…

はあっ
ピトッ

んふ♡
まだまだシたり
ないんだね人間さんは♡

じゃあその
期待に応えて

パサッ

ぬちゅ♡



ぜーんぶ
入っちゃったっよ
人間さん♡

ふー♡

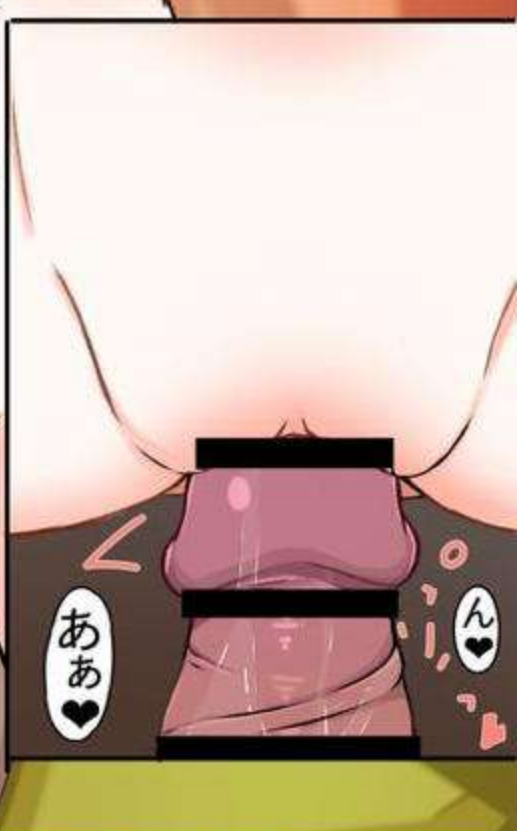
ふー♡

あはは♡
さっきと同じで動く前に
感じちゃってる♡
ほんとだらしがないなあ♡

あーっ
くわー



はあ♡
くち♡
はあ♡



ん♡
ああ♡



とっても気持ち
よさそうだね
人間さん♡

快樂に溺れて
もう頭空っぽって
感じた♡

じゃあ
そのまま
何も
考えず

ほ♡

ビュー
って
中に
射精し
ちやおう
か♡

ほ♡
ほ♡
ほ♡

ほ♡

ほ♡



ドドド
ドドド



こぼれちゃうくらい
すごい量の精液
流れ込んでくる…

とろけちゃい
そう…

あっ

キーン

キーン



こんなに
おいしくて
量もたくさん
の
精液

この程度で
食べ足りる
わけないよね

あ...

ああ...



まだまだ...♡これで
終わりじゃないよ
人間さん♡



はあ♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡



だから...

はあ...
はあ...

私と
もつと...♡に
なろう...♡

さつきから射精
止まらないね人間さん♥

はあ♥

私が残さず
食べてあげるから

はあ♥

その調子でズンズン
射精しちゃえ♥

ブルン

ズン

ドピュッ

おっぱいも好きな
人間さんのため

こっちでも
しっかり搾って
あげるよ♥

オニヤン

オニヤン

ドブン

ん♥

あつ…♡
またイツちやうんだね
人間さん♡

きつとこれが
最期の射精
かな♡

その時あなたは
精魂尽き果てて

私と完全に
一つになるんだよ♡

うう…

あつ…

さあ

イツちやえ♡

イツちやえ♡

キタ

ク

ム

ム





フンフーン♪

ザッ...

フンフーン♪

ザッザッ

はあ...
おいしかったあ♡

今回は大当たり
だったなあ♡

でも...少しだけ
食べ足りないんだよね

デザートが...
欲しいなあ♡

そう
例えば

そこでずっと
見ていた
あなた

とかね